



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第3号
2008年1月

〈ご挨拶〉

皆様の御支援御協力に感謝申し上げます。
深谷市議会議員として、日頃の議員活動を多くの市民の皆様にご報告し開かれた政治にするために、市政レポート第3号を発刊させていただきました。また、市民の皆様のお意見を聞かせていただき、住みやすい、暮らしやすい、子育てしやすい街、深谷市の実現に向け活動して参ります。
平成20年が、皆様にとりまして、そして深谷市にとりまして素晴らしい年になりますよう微力ではありますが精一杯活動して参ります。今後とも皆様の御支援御協力をよろしくお願い申し上げます。

〈ご報告〉

深谷市議会12月定例会が終了しました。

主な議案

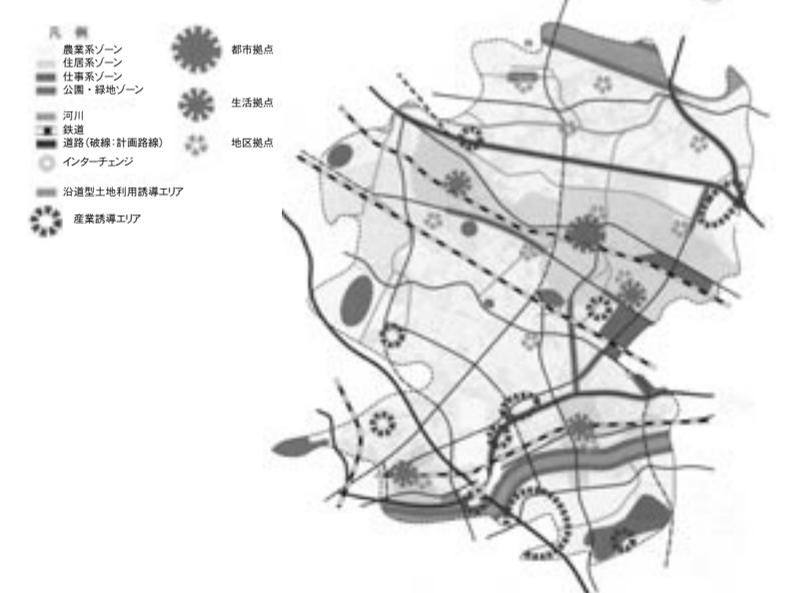
- ・ 深谷市総合振興基本計画について
- ・ 深谷市国土利用計画について
- ・ 平成19年度一般会計補正予算（第2号）
- ・ 平成19年度特別会計補正予算
- ・ 深谷市議会議員定数削減について（議員提案）
定数28名にて可決承認

その他にも重要な議案が審議されました。

〈深谷市総合振興基本計画とは〉

この総合振興計画は、市民生活の向上に向けて、市民と行政が連携しながら取り組んでいくまちづくりの目標とその実現方策を示す計画であり、合併後の新しい深谷市のまちづくりの最も基本となる計画として策定されるものであります。計画期間は、平成20年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とされており、前期と後期、各5年間に分けられ、今回の計画は前期基本計画で平成20年から平成24年の5年間とされております。

土地利用構想図



その中で、深谷市の将来像として

「夢を育み 明日に飛翔する 笑顔都市 ふかや」と定められておりますが、その内容は人口減少を想定した計画が多く、夢とか飛翔というものが伝わってこないように感じられましたが、施策実行段階においては、検討していくとのこと。4月には各公民館や市役所、各総合支所等に配られ、閲覧できますので是非、御覧になってください。

私は、住んでみたくなる街・深谷の実現に向けた計画策定をと訴えさせていただきました。

しかし、どんなに素晴らしい計画でも実行されなくては何にもなりません、市議会議員として、しっかりチェックしていきます。

活動成果状況（主なもの）

・ 創刊号でも報告しましたが、深谷市内29校、全ての学校で登下校の時などにPTAの方などが着用する統一色のジャンパー（ビブス）が完成し、11月に配布されました。当初は全部で200着の予定でしたが2000着の配布となりました、深谷市並びに、くらしいきき課の皆様へ感謝申し上げます。



・ 市内小中学校29校、全てにAED（自動体外式除細動器）の設置が決定し3月末までに各校保健室に設置されます。



・ 花園地区、小前田の排水路の浚渫（土砂のすきとり）工事が完了しました。（写真右）

・ 2月に140号バイパス沿い（花園道の駅隣）にオープン予定の（仮称）フォレスト様（洋菓子販売施設）に通学路の安全確保に関する要望書を提出させていただきました（自治会長さん、前深谷市議会議員の方と一緒に）協議させていただきました。フォレスト様には地元のために御配慮いただき感謝申し上げます。

12月14日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

9月議会に引き続き、
清水は初日の2番手で壇上に上がりました。

動機善なりや、私心なかりしか



物事を進めるにあたり、その動機は善であり、自己中心でないならば、おのずと、その事業は成功するという教えです。私自身、自問自答し事に臨んでおります。皆さん、おはようございます。議席番号3番、清水健一、発言通告に基づき質問させていただきます。

質問 教育や子育てに関する相談窓口の体制及び実態についてですが、市内29校の小中学校PTA役員さん対象に行ったアンケート調査の結果（回答者226名）、子育てや教育に関して不安を感じると回答した人が、なんと206名、91%という結果がでました、そして相談する相手がいないと答えた人が15名、相談する場の提供を望む方が21名という結果でした。このアンケートは日頃、学校行事に積極的に参加協力していただいていますPTA役員を対象にしたものです。全体を考えますともっと大きな数字が予測されます。また、子どもたちの状況も、いじめや登校拒否など問題が山積しており、その小さな胸を痛めているのではと感じます。現在の相談窓口の状況を聞かせてください。

答弁 現在、教育委員会では、各学校を中心に、さわやか相談室に於いて、各種相談を受けております。他にも教育庁舎内にある教育研究所において臨床心理士さんの協力を得ながら、相談を受けております。また、教育委員会のホームページでもEメールによる相談やFAXでの相談も受けております。

教育相談

深谷市教育庁舎内 教育研究所
フリーダイヤル 0120-4-78374
Eメールアドレス e-net@city.fukaya.saitama.jp

質問 環境教育についてですが、2050年までに現在の地球における二酸化炭素の排出量を半分に減らせなければ人類存続の危険もあると言われております、地球温暖化問題は、今の子どもたちが生涯、戦い続けていかなければならない問題ですが、子どもから社会を変えるという運動も教育界で話題になっております。教育委員会としての考え、取り組みについて聞かせてください。

答弁 現在、文科省にて策定中の学習指導要領に基づき進めて参りたいと思います。現在環境教育は各学年に合わせて授業を中心に行っておりますが、休み時間や教室を離れる時など照明をこまめに消すなど、環境に優しいエネルギーの活用なども教えております。

提言 子どもから社会を変える運動、子どもの感性は鋭いものがあります、夏休みの宿題に環境問題を出すなどして家庭を巻き込む（エコライフチャレンジ）などの教育に是非、力を入れていっていただきたい、文科省の学習指導要領も大切ですが、深谷市独自の教育を推進していくことが、教育立市深谷に望まれることなのではと提言させていただきました。

質問 花園地区の排水路の整備についてであります、特に小前田地区は下水道の整備も遅れ、合併前から問題になっておりますが、今後の整備状況、整備計画について聞かせてください。これは小前田地区、6つの地区の自治会長さんからも市長との対話会で出された要望です。

答弁 現地調査を実施して、公共下水道全体計画を検討し、財政状況を見ながら整備検討して参ります。それまでの間は市民の皆様の協力を得ながら排水路に堆積した土砂の浚渫（すきとり）など維持管理に務めてまいります。

現状 小前田駅北地区は特に道路も狭く、永い間、区画整理の問題が前に進まず、排水の問題もそのままになってきました、6月議会でその問題を取り上げさせていただき、11月に小前田駅中央区画整理を検討するために「小前田まちづくり協議会」が再編され第1回の会議が開催されました。

その他、この4月から深谷市全域に試行運行されます、コミュニティバスの運賃体系、運行形態について質問させていただきました。私の意見は、お年寄りや勿論ですが、通勤や通学にも是非、利用できるものにして多くの市民の皆様にご利用していただきたい、それが環境問題や交通問題にも良いことではと述べさせていただきました。



清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ：<http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail：info@shimizu-kenichi.jp

プロフィール



昭和36年1月27日生まれ（46才）

家族構成 父、妻、子供3人（6人家族）犬（オス）1匹（名前ショコラ）

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- ◎ 深谷市PTA連合会 会長
- ◎ 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- ◎ 花園地区青少年健全育成会副会長
- 花園商工会青年部長

(◎は現職)